

大きな物差しを持つ

学 校 長

平成27年4月に福井県初の公立の併設型中高一貫教育校として開校した高志中学校も、この度、第5期生を迎えました。皆さん、高志中学校を選んでいただきありがとうございます。そして、入学おめでとうございます。

1年生の皆さんには中学校生活のスタートにあたり、また、2～3年生にはこれまでの学校生活を振り返り、高志高校進学までの限られた時間をより有意義に過ごすために、心がけてほしいことをお伝えします。

それは、自分の中に大きな物差しを作るということ、即ち、全体から物事を考える習慣を付けるということです。

例えば、福井県は幸福度日本一の評価を得ていますが、福井にずっと住んでいると、その価値を客観的に捉えることは難しいものです。全国の中でどうか、世界の中でどうか。また、1年前や10年前など過去と比べてどうか。福井について深く知るためには、地理的にも時間的にも範囲を広げた長くて大きな物差しを使うと、よりクリアに見えてくると思います。

同じことが、自分自身を見るときにも言えます。ともすると、90名という極めて限られた集団の中での評価が、自分自身の客観的な評価だと思いがちです。友達の良い点を参考に切磋琢磨することは大切ですが、ただ比較して、その優劣に一喜一憂しても意味がありません。90名という限られた集団の中で優れていたとしても、近い将来、皆さんが競い合う相手は、全国、海外の人たちだからです。また劣っているのではないかと悲観する必要もありません。3倍を超える難関を突破して入学してきた集団の中のことだからです。

むしろ皆さんは、県全体の中で、さらに国内外の同世代の中で自分自身はどうか、意識してほしいと思います。そのためには、同世代が参加する企画があればどんどん出かけてみてください。中学生の皆さんだって、高校生や大学生対象の企画にちょっと背伸びして行ってもいいと思います。外に目を向け、大いに良い刺激を受けてください。

また、大学に進む6年後、社会に出る10年後、いや夢を実現した〇〇年後の自分の姿をイメージして、長〜い時間の物差しを自分に当ててみると、現在の自分の位置が見えてくると思います。

中学校生活は3年間ですが、本校では高校を含めた6年間を見通した教育プログラムを組んでいます。中学校と高校の学習内容をあわせて効率的に学習したり、高校入試対策に使われる時間を、より幅の広い活動、よりレベルの高い学習に充てたりしています。また、シンガポール研修や、県外の有名進学校・大学の先生方による授業や指導、県内外の企業経営者による講座など、他の中学校では得られない様々な経験の場が豊富にあります。ワクワクすることもあれば、大変に感じることもあると思いますが、皆さんには、高志中学校での活動を通じて、大きな物差しを自分の中に作っていく、広い視野で物事を捉える感覚を磨いていくことを期待しています。